



有機農家ほうもん

ほっかいどう39号

発行 (有)池田食品工場

代表取締役 池田一夫

電話 0897-33-8311

FAX 0897-33-8319

E-Mail: info@ikechan.co.jp

現在当社が新居浜市内で管理している有機栽培の圃場は認証済み3圃場3反と未認証3圃場3反の計6反で野菜を作っています。でもこの圃場で賄えるのは幼稚園給食に使う分くらいしか収穫できません。ハローランチは有機野菜を使うためには圃場数を増やすが、産地から仕入れるがしがありません。今回は北海道の有機栽培農家に取引を希望する旨の手紙を出し回答があり「当社との取引を検討しても良い」と申し込みのあった農家を訪問し、有機栽培の野菜を仕入れる為に北海道に行きました。その甲斐あって、この秋収穫の有機栽培の玉葱、男爵、かぼちゃ、小麦粉、大豆などを仕入れることができるようになりました。これによってハローランチにも有機栽培野菜を使用することができるようになります。

④新得町の大塚農園 大塚孝一さん

富良野市から帯広市に向かう途中にある新得町で親子三人で有機栽培を営まれていました。大塚さんはずっと以前から農薬や化学肥料を使わずに農業を営まれていましたが、有機認証を申請し取得したのは近年だそうです。短い夏を有効活用する為に、ビニールハウスで小松菜、ナス、きゅうり、トマト、大根、山芋など20品目以上を栽培され、道内を主な市場にされていました。この地



域一帯が長く有機栽培されているのが分かるくらい土が黒く、歩くとホクホクとした弾力のある土でした。6月半ばと言うのに短い夏を謳歌するかの様に畑の周りの木々からせみ時雨がうるさいくらい聞こえてきました。大塚農園の最大の敵は野生の鹿だそうで圃場に沿って、高圧電流が流れるように柵を張り巡らせていました。息子さんを中心にとっても社交的な奥様と、とても人のよさそうなご主人がニコニコと微笑みながら農作業されている様子が想像できました。



20①栗山町の川合農園の川合孝俊さん

一件目は栗山町の川合農園を訪問しました。奥様と二人で農園を切り盛りされています。50のha畑は主に玉葱を作っていて、玉葱も播種時期を変えたりして収穫時期が少しずつずれる様にしています。「一反あたり〇〇キロの収穫を」と無理をすると有機栽培では生産できない。無理をせず、その年の気候に任せて栽培するようにしています。良い年もあるし、そうでない年もありますね。同じ年でも圃場によって収量が違ってきます。それはそれでよしとしましょう。」と自然に逆らわずでも手間と愛情は十分にかけて玉葱作りに取り組んでいらっしゃいました。



②③



①

④

②富良野市麓郷地区

富良野アグリステージの渡部正行さん

二件目の訪問先は「北海道のへそ」富良野市麓郷の富良野アグリステージの渡部さんを訪問しました。渡部さんは主に男爵を有機栽培で生産されています。最近では「インカのめざめ」の栽培にも挑戦していらっしゃいます。広大な圃場は圃場の向こう側の境界線が見えないくらい広がったです。渡部さんは90haある畑の8haを有機栽培で栽培され認証も受けていますが、残りの畑は減農薬栽培の野菜や水耕栽培のイチゴも作っています。



「美味しいジャガイモを作りたい、それを食べた人が喜んでくれるのがまたうれしい」と有機栽培に取り組んでゆく思いを語られていました。

写真は渡部正行さん(左)とこの日一日私に同行して下さった北進農材の渡部洋行さんです。富良野出身だそうです。二人は遠い親戚になるそうです。



③富良野市麓郷地区 今農園の今利一さん

あの「北の風から」の舞台になって富良野市で黒板五郎一家が住んでいた家のある麓郷地区で有機栽培グループのリーダーで富良野市議会議員をされている今利一さんの畑を訪問しました。麓郷地区は市街地から車で30分ほど離れたところにありました。今さんは50haの畑を持たれています。男爵、玉葱、人参、小松菜、南京、そばなどを栽培されています。収穫した有機野菜をそのまま出荷するだけでなく、共同で冷凍野菜などにして一年を通して販売するなどの高付加価値化を積極的に取り組まれていました。今さんの圃場はすべてが有機JAS認証圃場と言うわけではなく、有機栽培で育てているが認証は取っていない圃場があるそうです。

今さんとお話していると私に欠けているものがしっかりとあるように感じました。それは農業経営の健全性に対する確固とした信念と将来のビジョンがあると感じました。

今さんと麓郷地区の有機栽培メンバーの農業経営を確固としたものにしようと努力されているんだとお話をする中でその思いがひしひしと伝わってきました。



⑤大樹町の十勝野菜村遠藤内査勝(マサツ)さん

今から20年も前から無農薬、無化学肥料で農作物を作り続け有機JASスタートと同時に申請し十勝地区で有機JAS認証第一号を取得されたそうです。南京、人参、男爵、メイクイン、小麦、にんにくなどを栽培し、50haの圃場すべてを有機栽培しています。牛も育てていらっしゃってその牛にも有機で栽培した大豆や牧草を食べさせているので、いつでも有機JAS畜産物の認証をもらえる準備ができているそうです。奥様も有機栽培の素晴らしさと自然との調和を説かれていました。有機栽培の正しさ安全性を確信しているご夫婦でした。

